

## <日本経済の基調判断>

景気は、弱さを脱する動きがみられ、  
緩やかに回復している。

企業収益は改善。  
設備投資は緩やかに増加。

個人消費は、持ち直している。

雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善に広がりが見られる。

輸出、生産は横ばい。

(先行き)

- ・ 企業部門の好調さが持続する中で、家計部門も改善しており、世界経済の着実な回復に伴って、景気回復は底堅く推移すると見込まれる。
- ・ 一方、情報化関連分野で見られる在庫調整の動きや原油価格の動向等には留意する必要がある。

## <政策の基本的態度>

政府は、6月21日、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2005」を閣議決定した。今後、本基本方針に基づき、構造改革を加速・拡大する。

政府は、日本銀行と一体となって、重点強化期間におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力の更なる強化・拡充を図る。

# 今月の説明の主な内容

## (1) 踊り場脱却に向けた動き

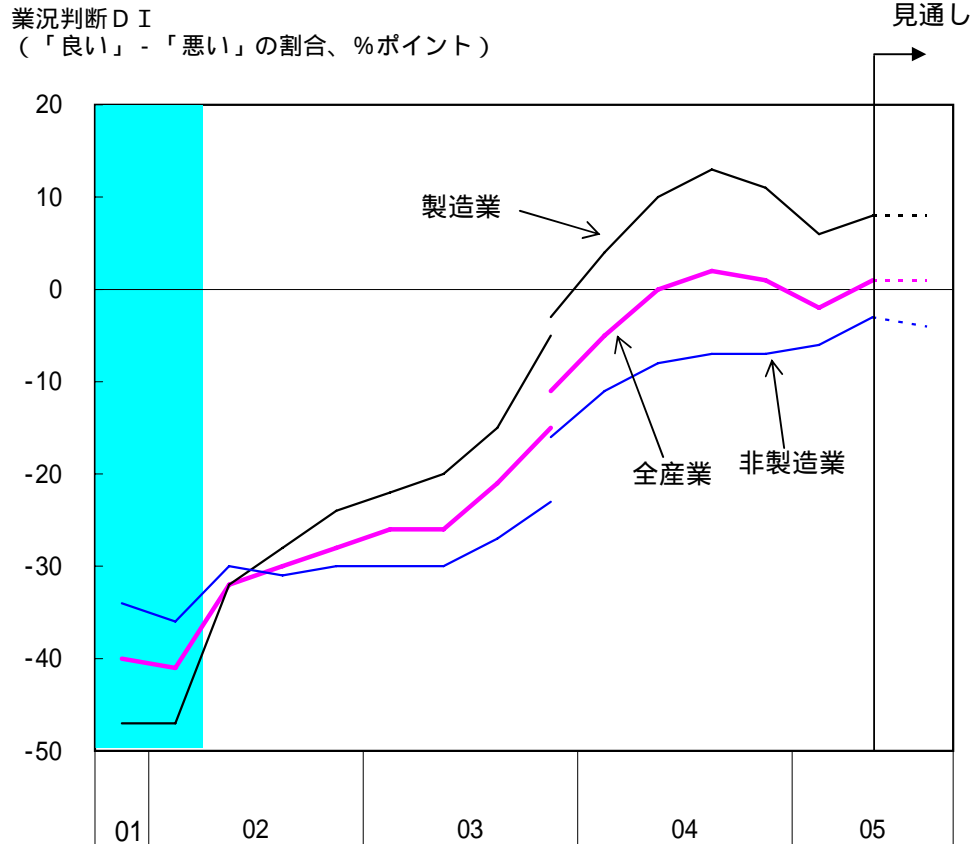
業況感の緩やかな持ち直し

企業部門から家計部門への波及

## (2) 原油価格の動向に留意

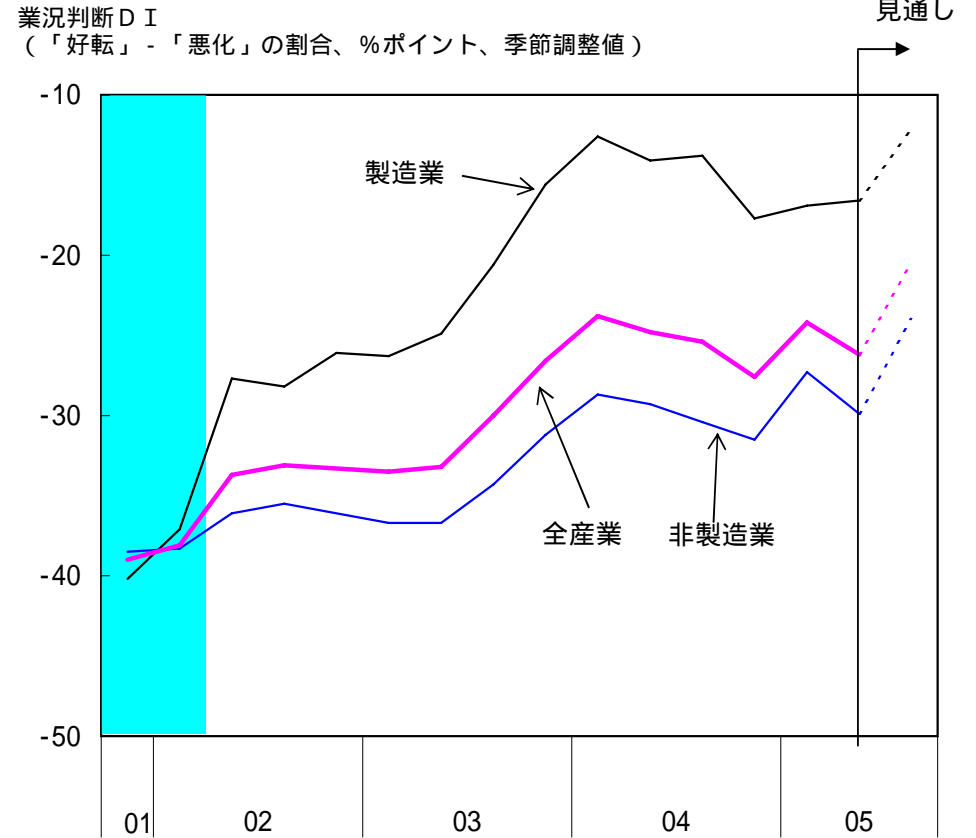
# 業況判断は緩やかに持ち直している

## 日銀短観における業況判断



- (備考)
1. 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」より作成。
  2. 「全国企業短期経済観測調査」における調査対象は、資本金2千万円以上の民間企業(金融機関を除く)。

## 中小企業の業況判断



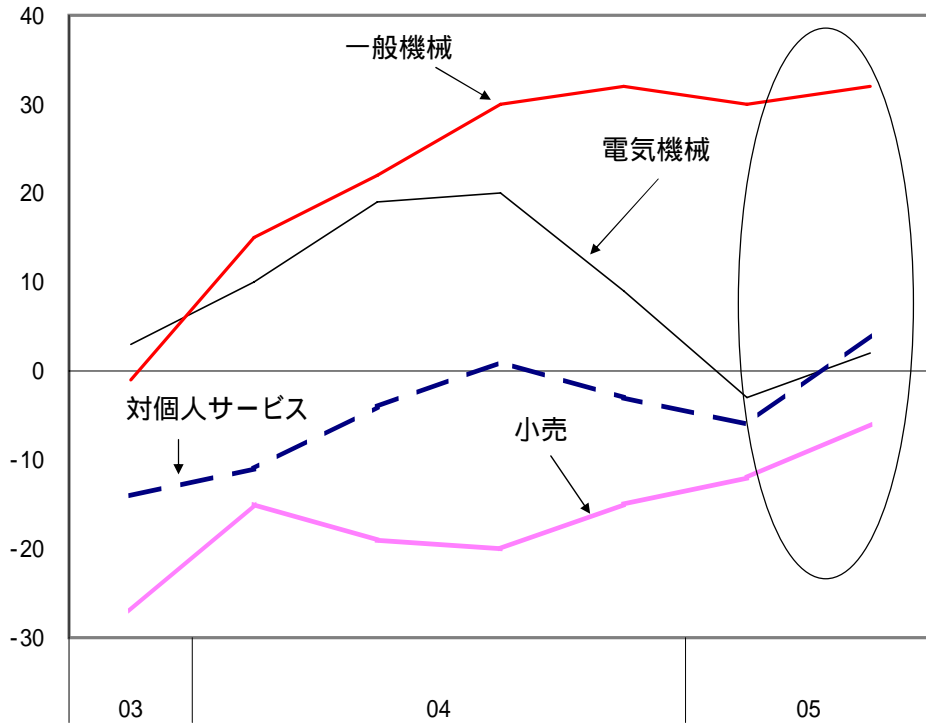
- (備考)
1. 中小企業基盤整備機構「中小企業景況調査」より作成。
  2. 「中小企業景況調査」における調査対象は、以下の通り。  
 製造業・その他：従業員300人以下、又は、資本金3億円以下  
 卸売業：従業員100人以下、又は、資本金1億円以下  
 小売業：従業員50人以下、又は、資本金5千万円以下  
 サービス業：従業員100人以下、又は、資本金5千万円以下

# 業況判断は緩やかに持ち直し

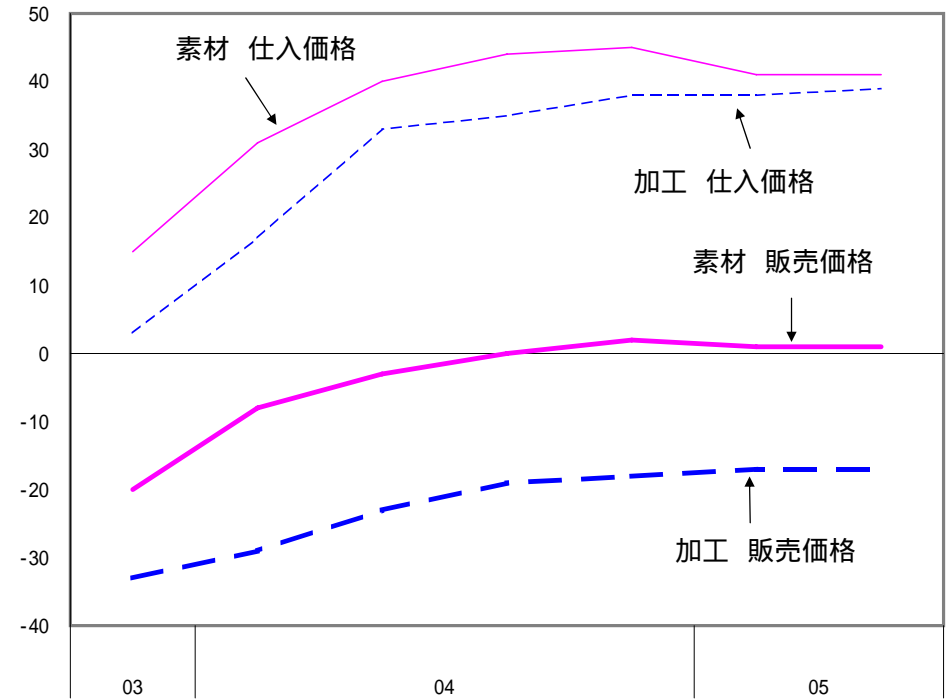
業況判断：多くの業種で持ち直し

仕入価格：素材業種では一服感

(「良い」 - 「悪い」の割合、%ポイント)



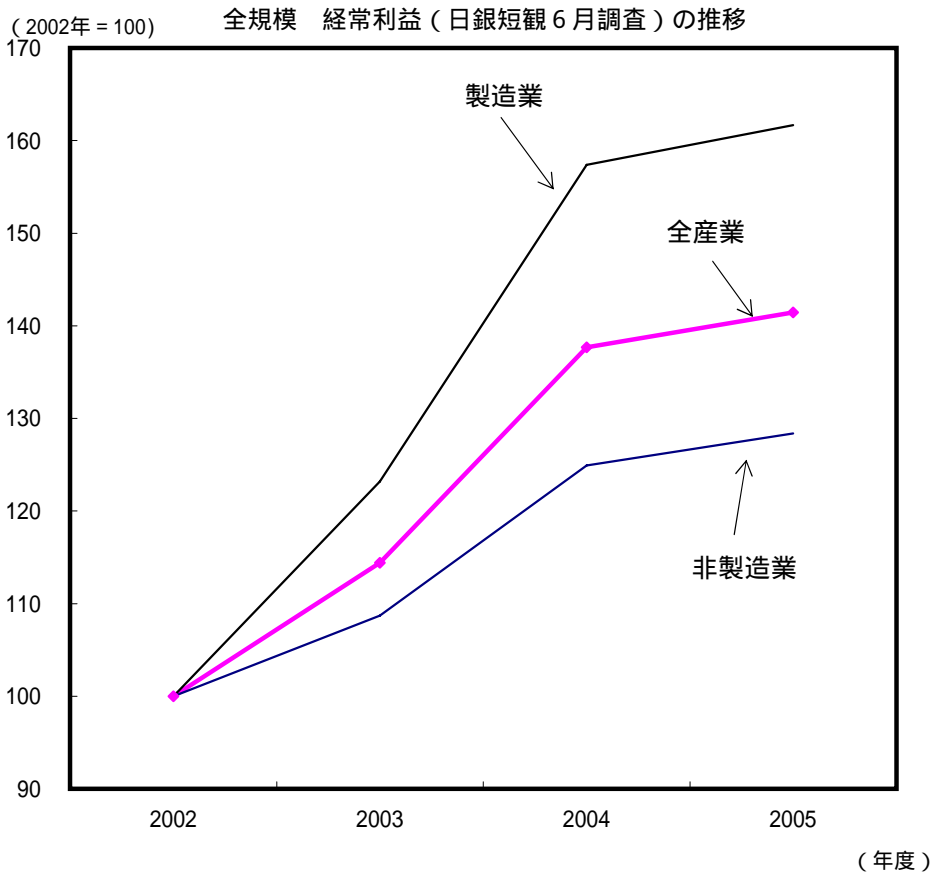
(「上昇」 - 「下落」の割合、%ポイント)



(備考) 対個人サービスとは、医療・介護事業、学習支援業、娯楽業、洗濯・理容業等。  
日本銀行「全国企業短期経済観測調査」より作成。  
対象は、全規模全産業。

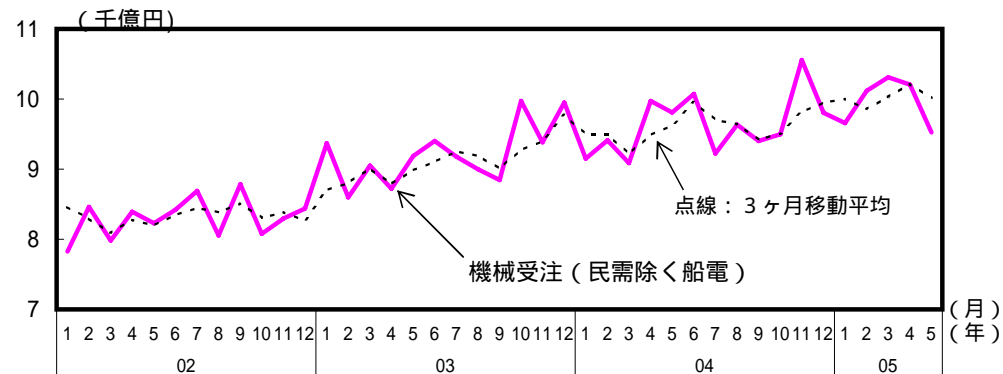
# 企業収益と設備投資

## 経常利益は、高い水準で増益

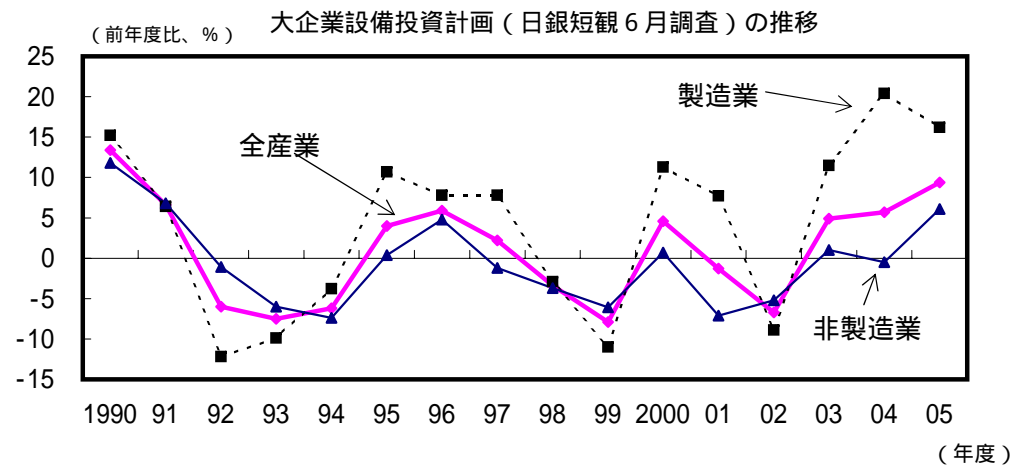


- (備考)
1. 日本銀行「短観」により作成。
  2. 日銀短観は、2004年3月調査から調査方法が変更されているが、2002年度は、新基準による調査方法。

## 機械受注は横ばいに



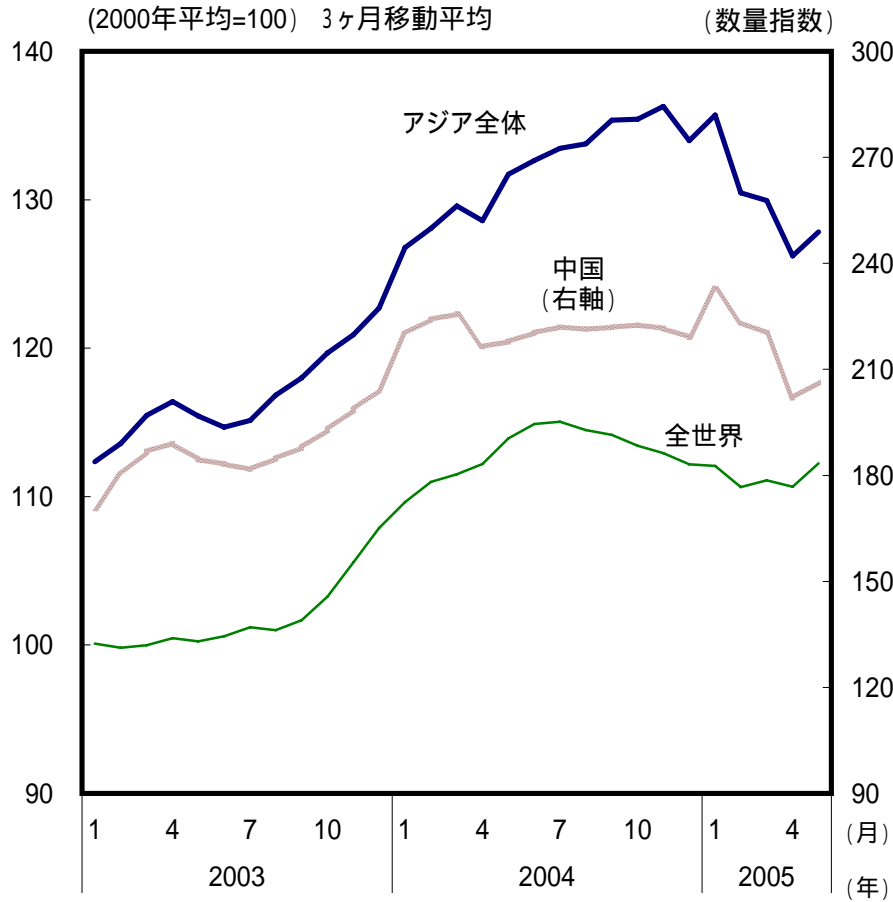
## 設備投資計画はバブル期に次ぐ高い伸び (全産業)



- (備考)
1. 内閣府「機械受注統計」により作成、日本銀行「短観」により作成。機械受注は季節調整値。
  2. 日銀短観は、2004年3月調査から調査方法が変更されている。

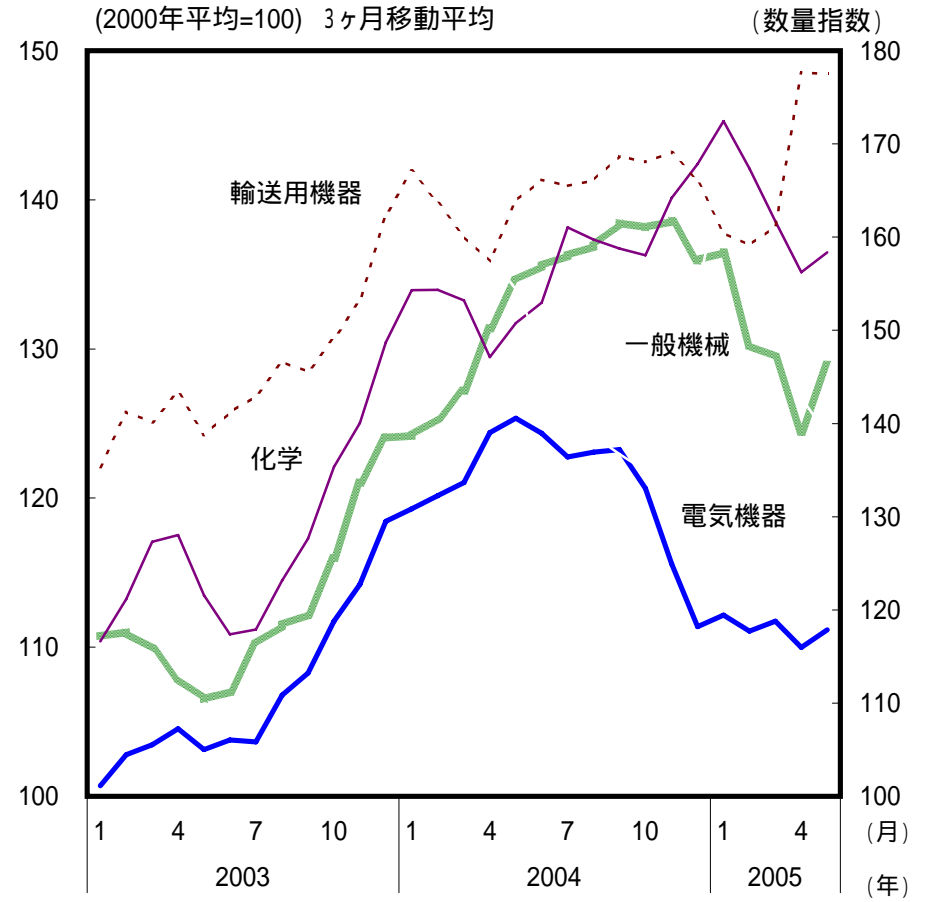
# 輸出は横ばい

## アジア向け輸出 横ばいが続く



## アジア向け品目別の輸出

電気機器は弱含むも、一般機械では持ち直しの兆し



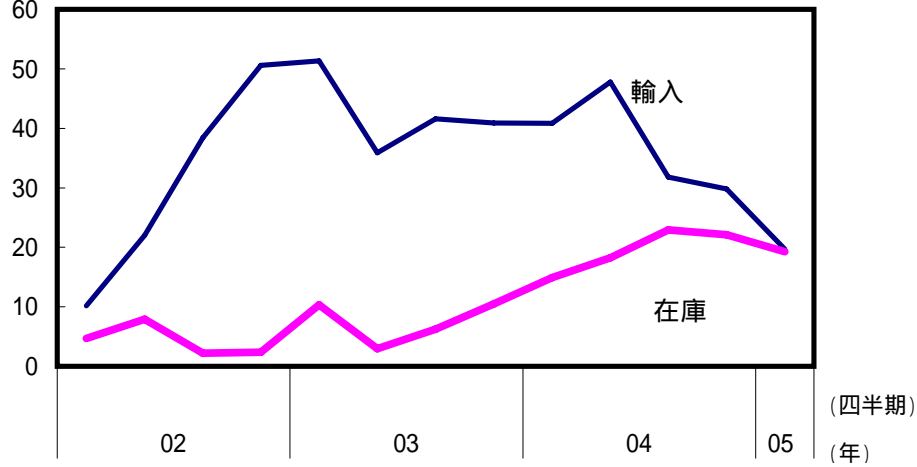
(備考) 1. 財務省「貿易統計」により作成。  
 2. 数量指数の季節調整値。(3ヶ月移動平均)  
 品目別数量指数 = 輸出金額(季節調整値) ÷ 貿易統計価格指数

# 輸出は横ばい

中国輸入鈍化の一因は在庫増か

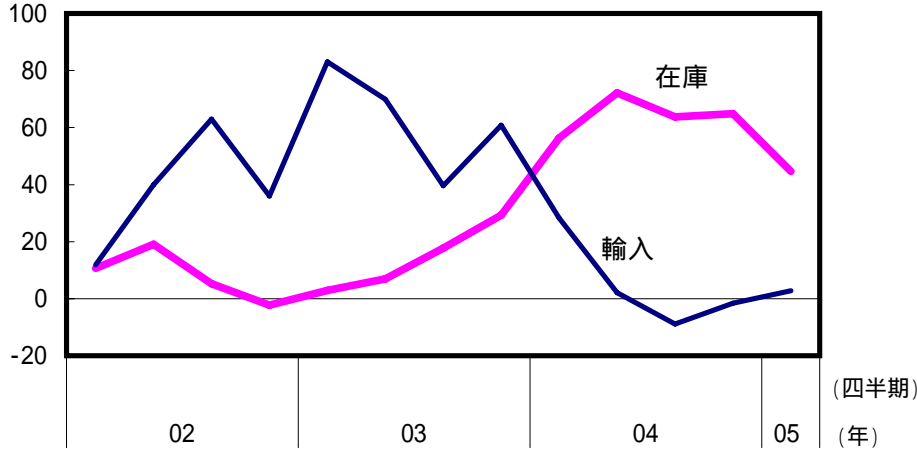
電気機械

(前年同期比、%)



鉄鋼

(前年同期比、%)

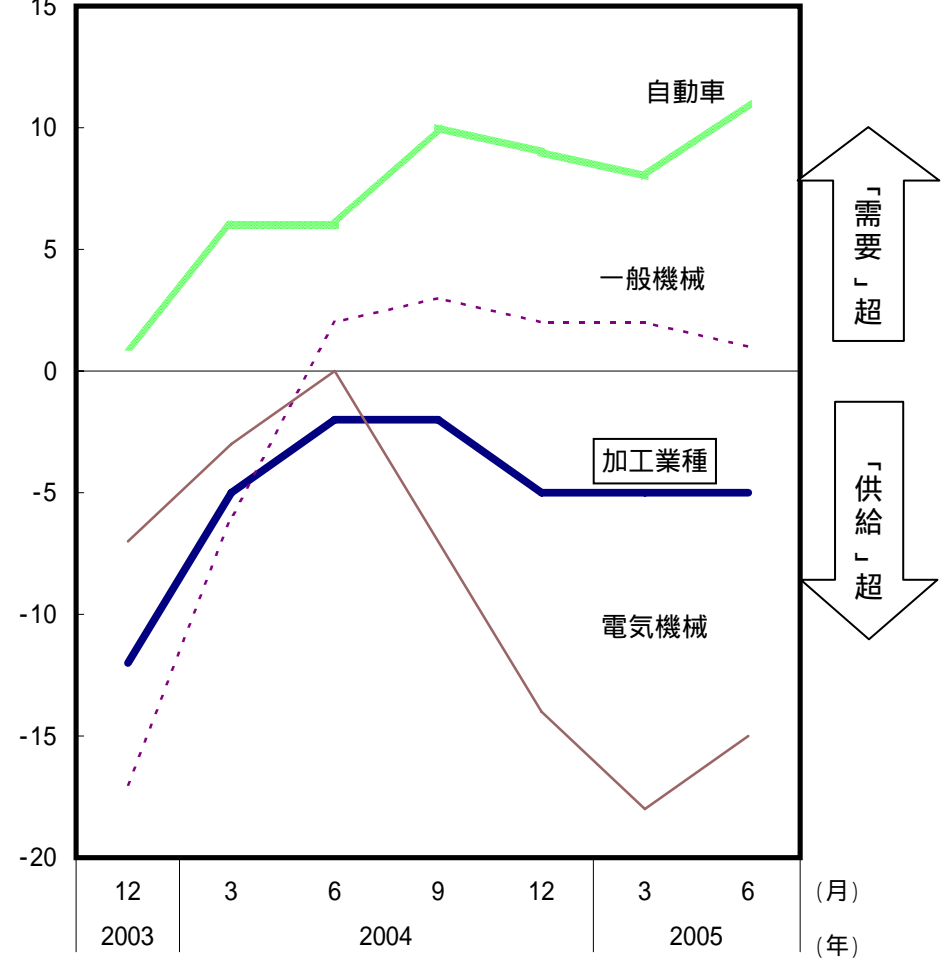


(備考) 中国海關統計、上記は金額ベース

加工業種の需給判断(海外)は下げ止まり

電気機械で好転、自動車は堅調

(「需要超過」-「供給超過」の割合、%)

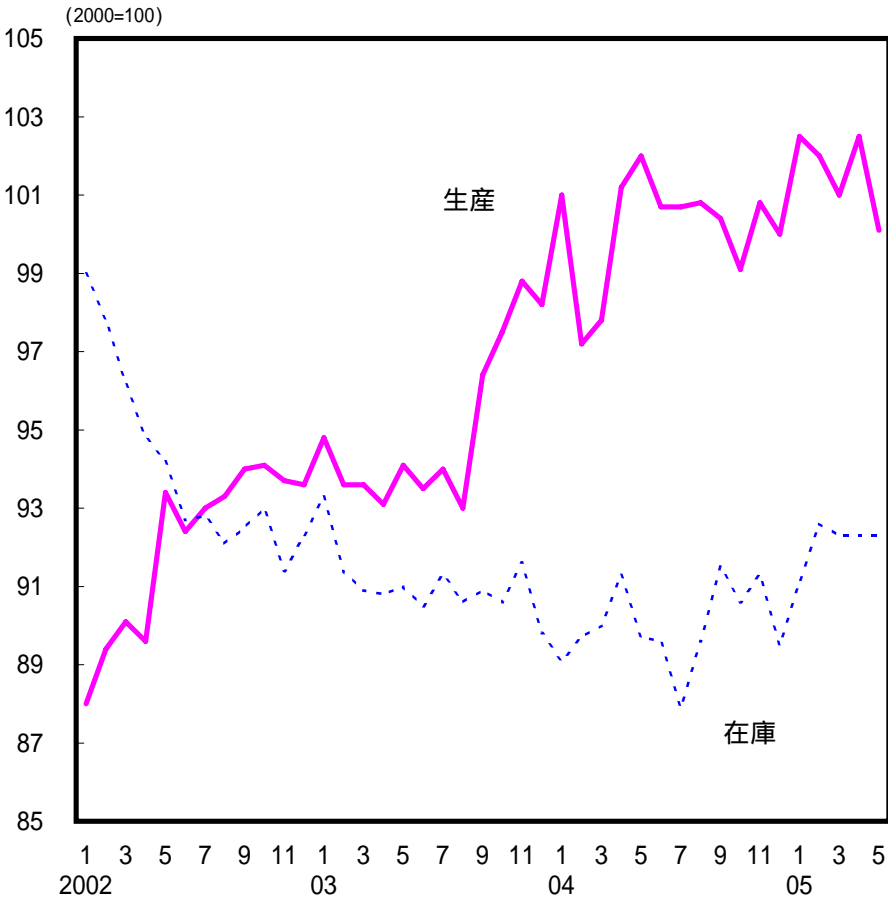


(備考) 日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2005年6月調査による。全規模合計。



# 生産は一進一退

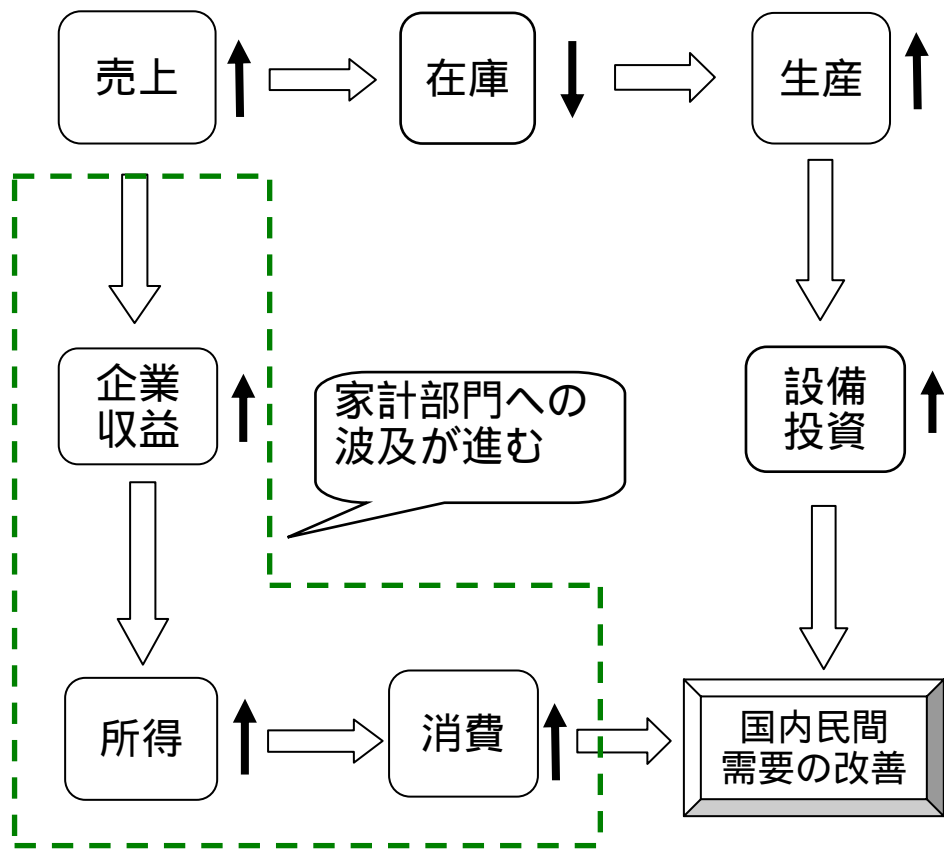
鉱工業生産の推移



(備考) 経済産業省「鉱工業指数」。

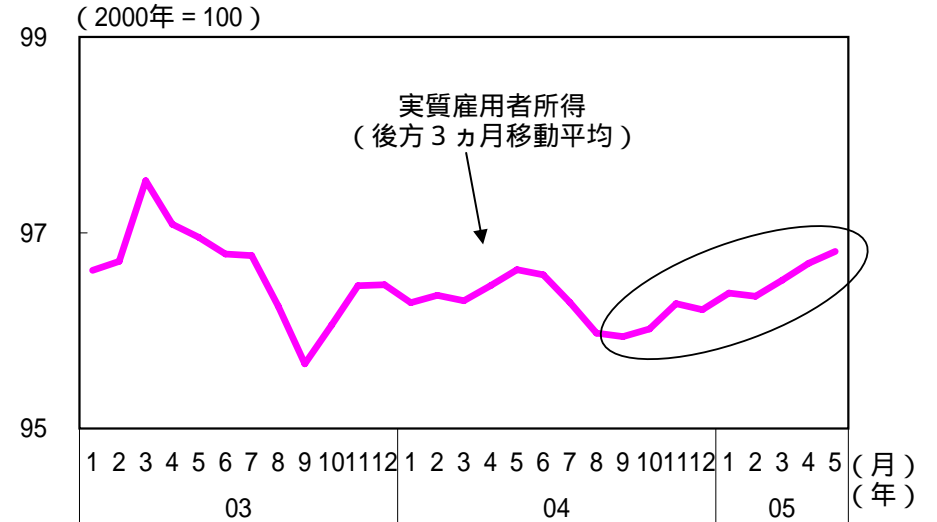
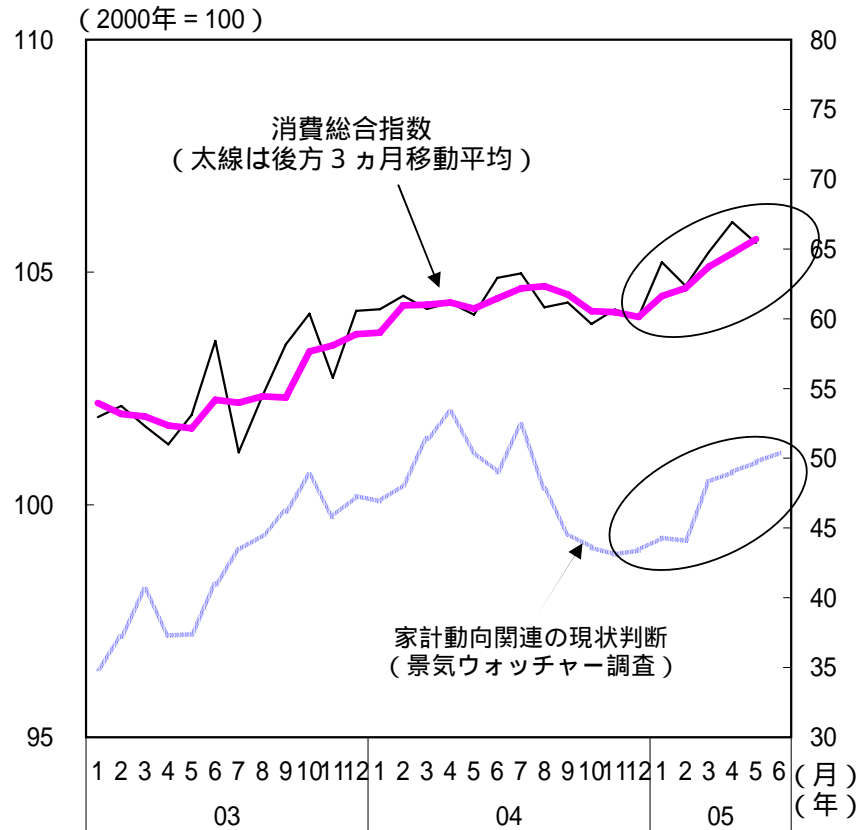
# 企業部門から家計部門への波及

景気のメカニズム(概念図)



# 個人消費は持ち直し

## 所得増を背景に個人消費は持ち直し



### 夏のボーナスは大企業を中心に前年比プラスの伸び

|         | 05年度夏季ボーナス見通し<br>(前年同期比、%) |
|---------|----------------------------|
| 日本経団連   | <b>3.2</b>                 |
| 労務行政研究所 | <b>5.1</b>                 |

(備考)

- 消費総合指数は、内閣府(経済財政分析担当)で作成。季節調整値。
- 内閣府「景気ウォッチャー調査」。家計動向関連は、小売や飲食、サービスといった家計動向関連の景況感をまとめた結果。

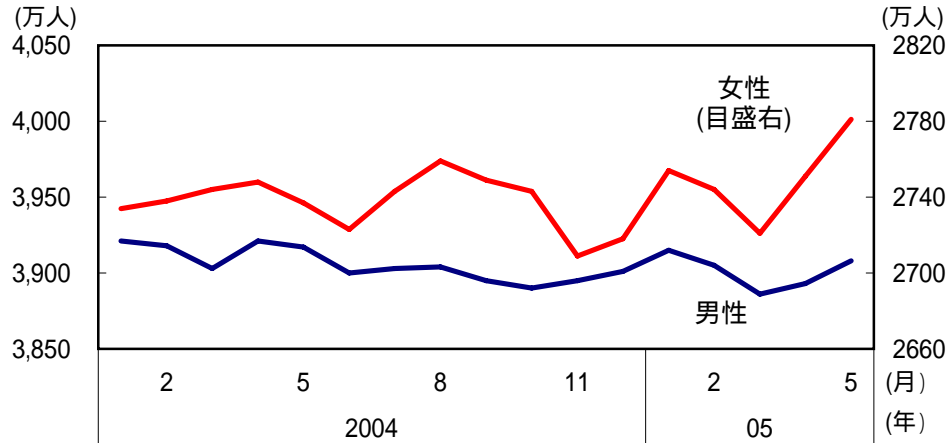
(備考)

- 実質雇用者所得は、現金給与総額(厚生労働省「毎月勤労統計」と非農林業雇用者数(総務省「労働力調査」)を掛け合わせた内閣府試算値。季節調整値。
- 日本経団連調査は、調査対象である主要22業種・大手288社による第2回集計値(6/29時点)。労務行政研究所調査は、東証1部上場企業281社による速報集計値(6/8時点)

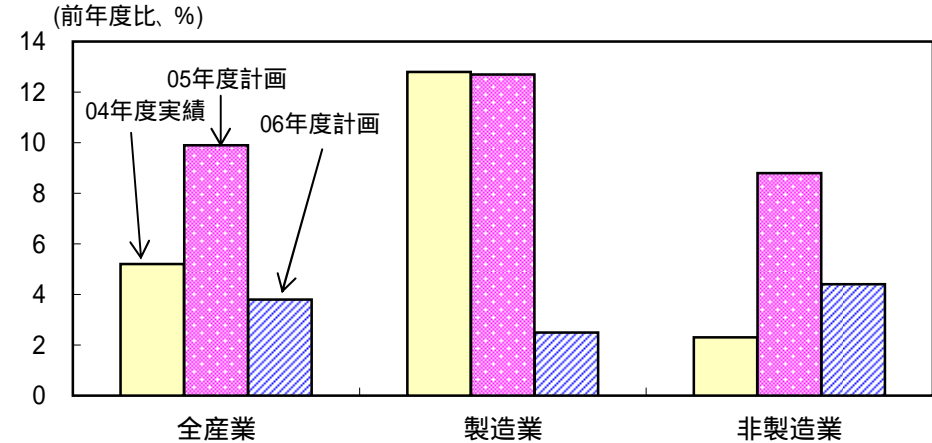
# 雇用は改善に広がりが見られる

[失業率 4.4% 有効求人倍率 0.94倍]

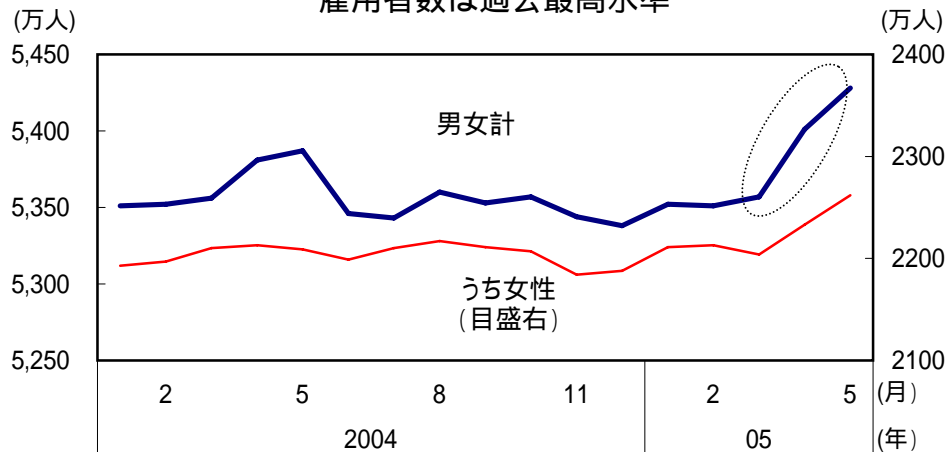
### 女性の労働力人口は大幅増



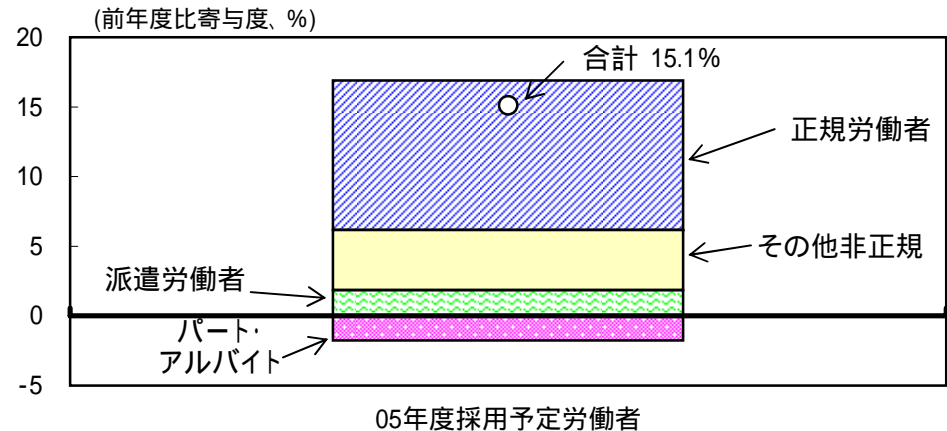
### 新卒採用計画は好調



### 雇用者数は過去最高水準



### 企業の採用予定者数(新卒以外)は正規労働者を中心に増加



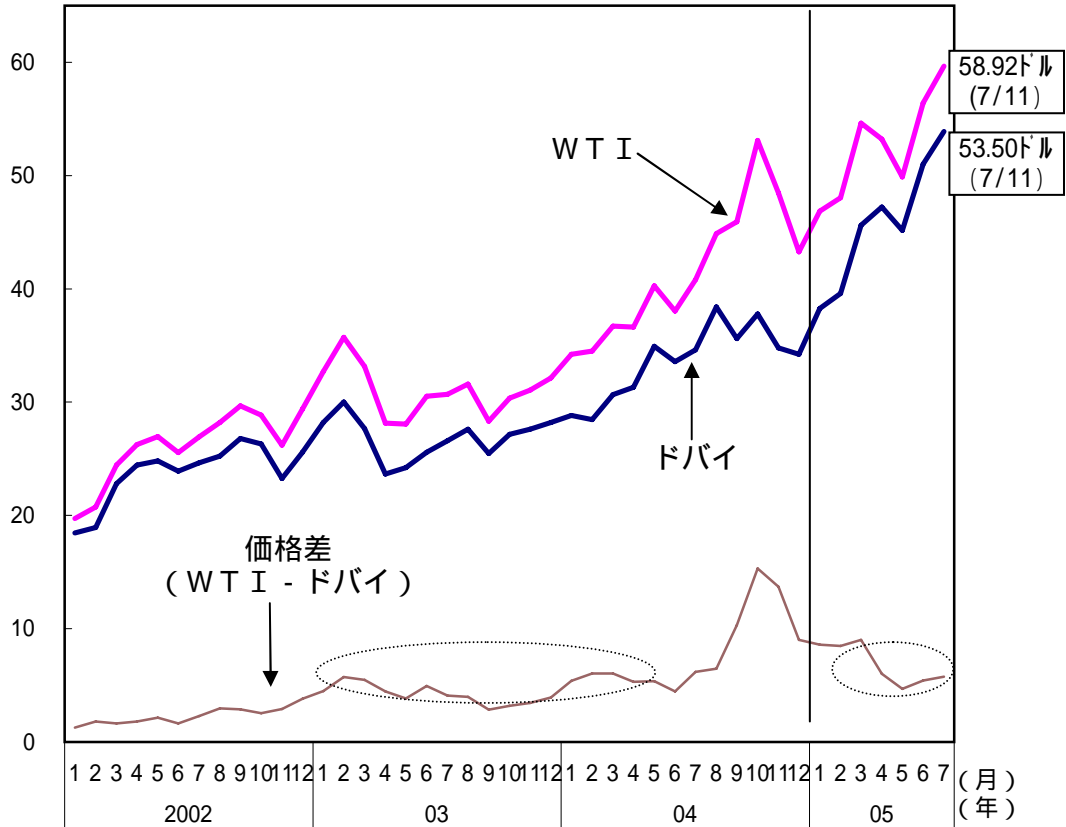
(備考) 1.総務省「労働力調査」より作成。  
2.季節調整値。

(備考) 1.厚生労働省「企業が求める人材の能力等に関する調査」、日本銀行「全国企業短期経済観測調査」により作成。  
2.新卒採用計画は金融機関を含む。  
3.企業の採用予定者数は、新卒正社員を除く。

# 原油価格の動向

原油価格の推移

(ドル/バレル)



**原油価格は長期的に高止まる可能性**

- 中国、インド等を中心に需要は強い
- 増産のための巨額な開発費用等から、供給は硬直的
- 重質油の精製設備の不足 軽質油(WTI)へ需要が集中

**今回の原油価格上昇の影響**

エネルギー効率の高まり  
原油輸入額の上昇分は比較的軽微(対実質GDP)

|         |      |
|---------|------|
| 第一次石油危機 | 2.8% |
| 第二次石油危機 | 2.9% |
| 今回      | 0.6% |

供給面だけでなく需要要因も大きい  
(世界経済の好調を背景とした価格上昇)  
当面、企業は売上増によって価格上昇を吸収

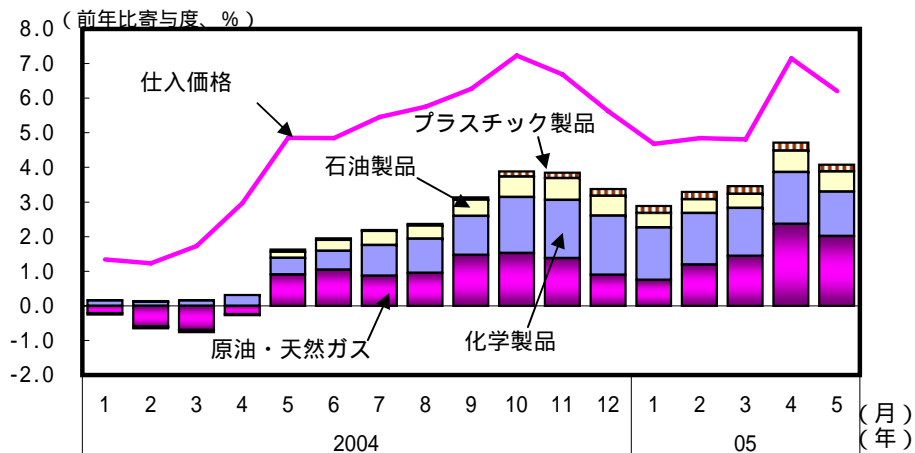
WTI、ドバイ価格ともに過去最高値を更新

昨年後半に比べWTIとドバイの価格差が縮小

(備考) 原油価格上昇による所得移転額(実質)を原油輸入額の上昇分として算出。

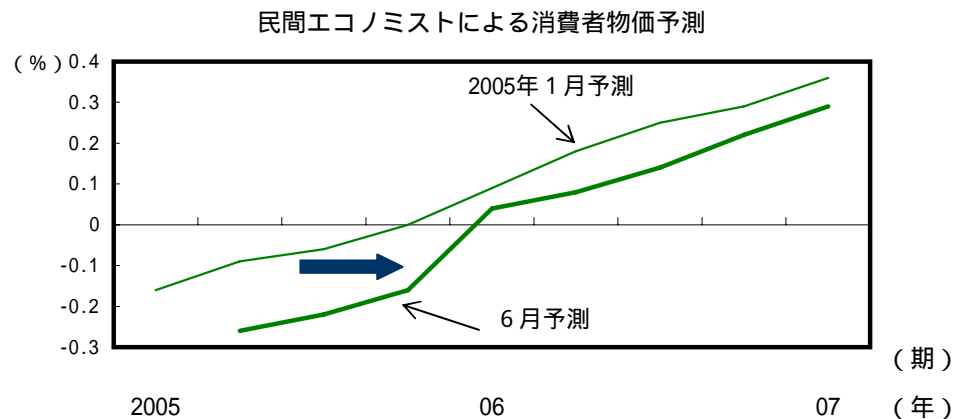
# 原油価格の動向 : 日本

原油及び石油関連製品が仕入価格を押し上げ



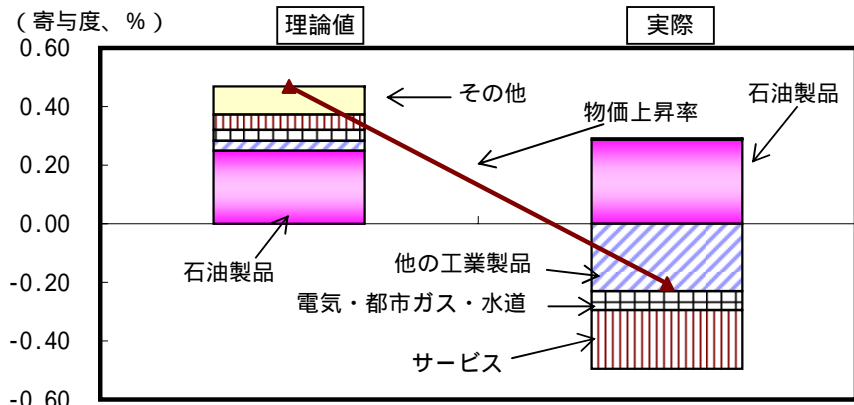
(備考) 日本銀行「製造業部門別投入・産出物価指数」により作成。仕入価格は投入物価指数。

消費者物価上昇率がプラスになる時期は後ずれ



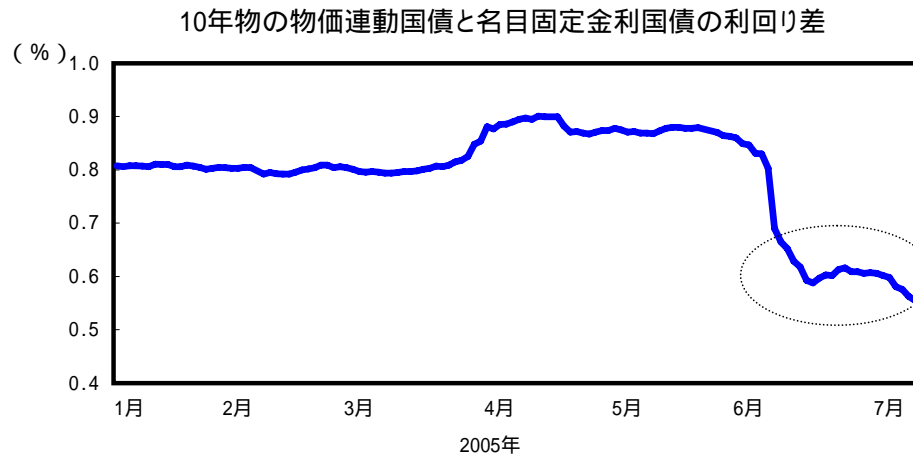
(備考) 1. (社)経済企画協会「ESPフォーキャスト調査」(各月)より作成。  
2. 生鮮食品除く総合の前年同期比。

川下価格への転嫁は進んでいない



(備考) 1. 総務省「平成12年産業連関表」及び総務省「消費者物価指数」により作成。  
2. 理論値は、2004年度中の原油価格の上昇(30%程度)が消費者物価に100%転嫁されたときの影響を試算したもの。  
3. 実際の値は2005年3月の前年比寄与度

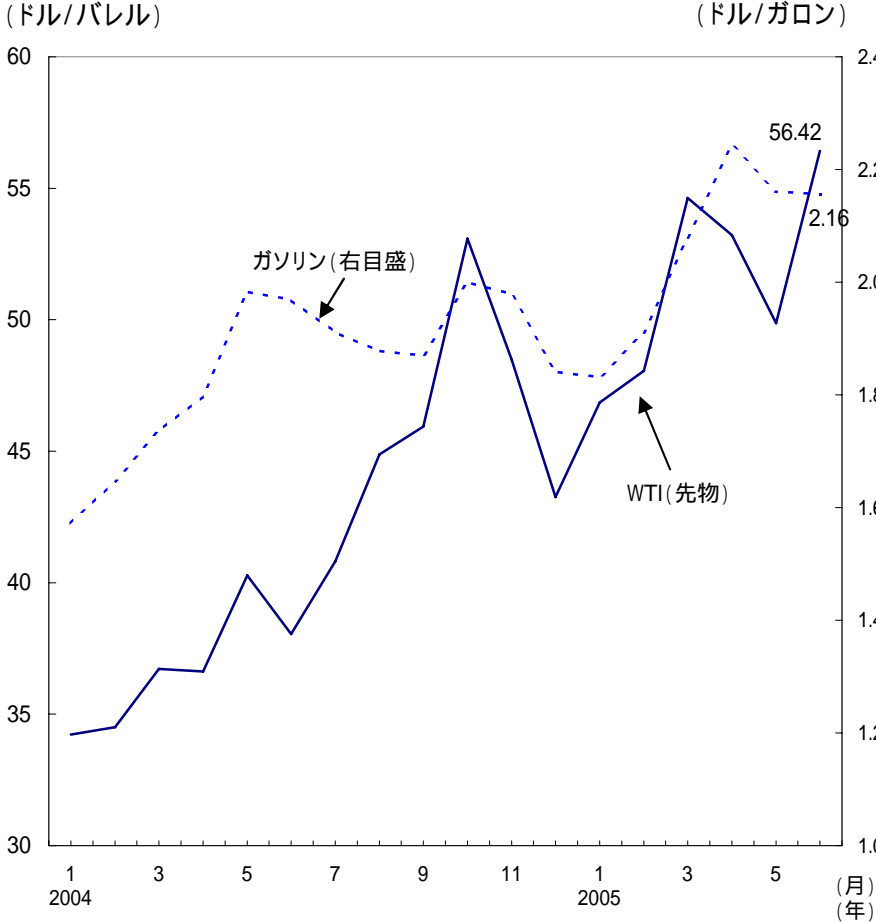
今後10年の期待インフレ率は低下



(備考) 1. ブルームバーグより。  
2. 物価連動国債(10年物、第3回債)と名目固定金利国債(10年物)の利回り差を見たもの。

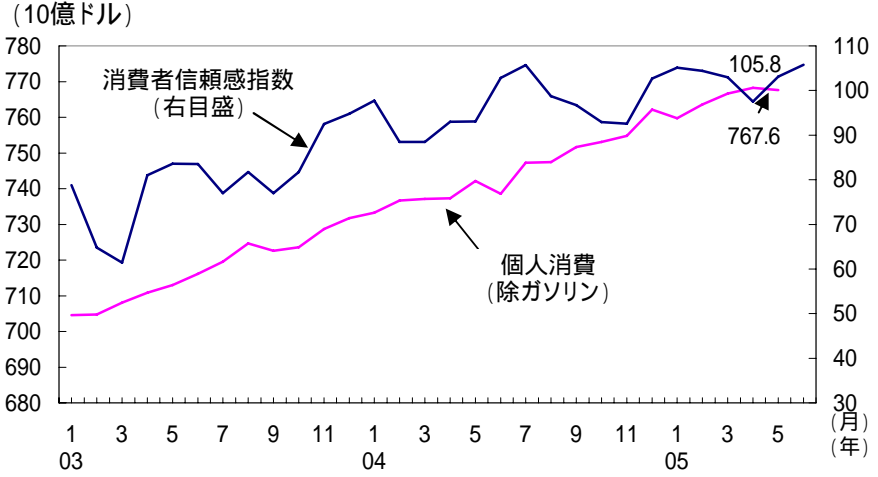
# 原油価格の動向 : アメリカ

WTI(先物)価格、ガソリン価格ともに上昇  
(月次平均)



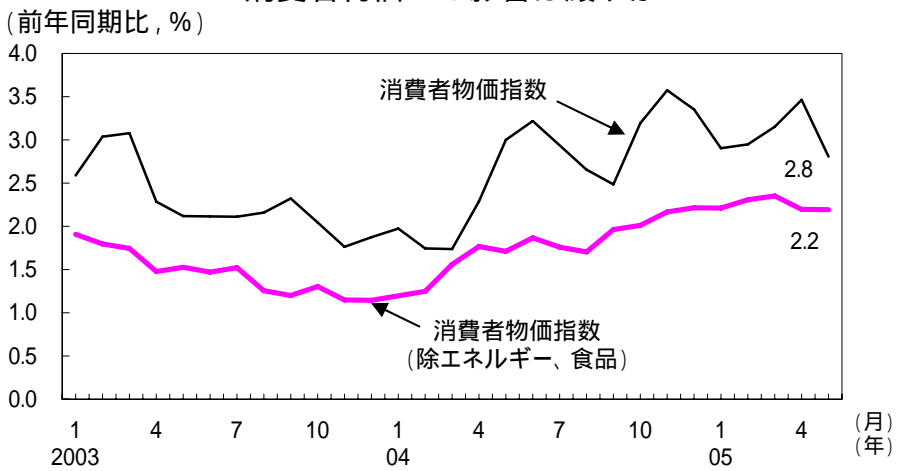
(出所) 米国エネルギー省、ブルームバーグ  
 (備考) ガソリン小売価格はレギュラーガソリン小売価格の全米平均。  
 1ガロンは3.785リッター。1バレルは42ガロン。

消費は緩やかに増加



(出所) コンファレンスボード、米国商務省

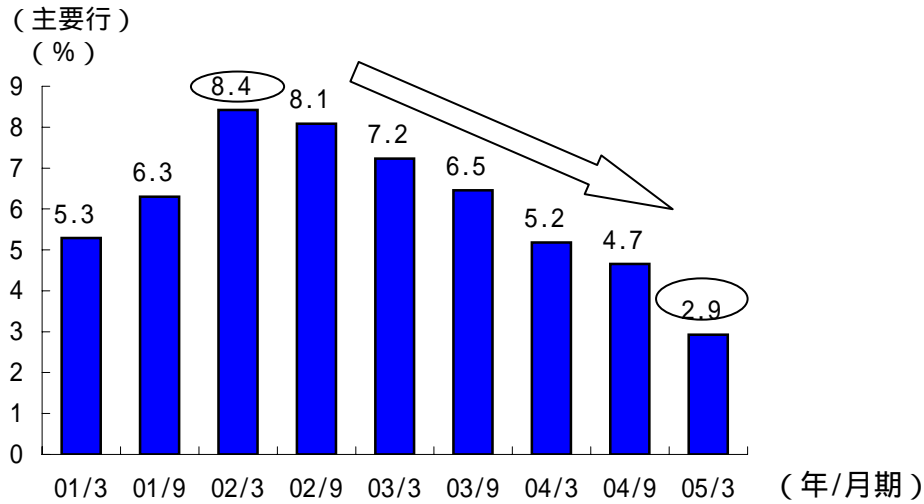
消費者物価への影響は緩やか



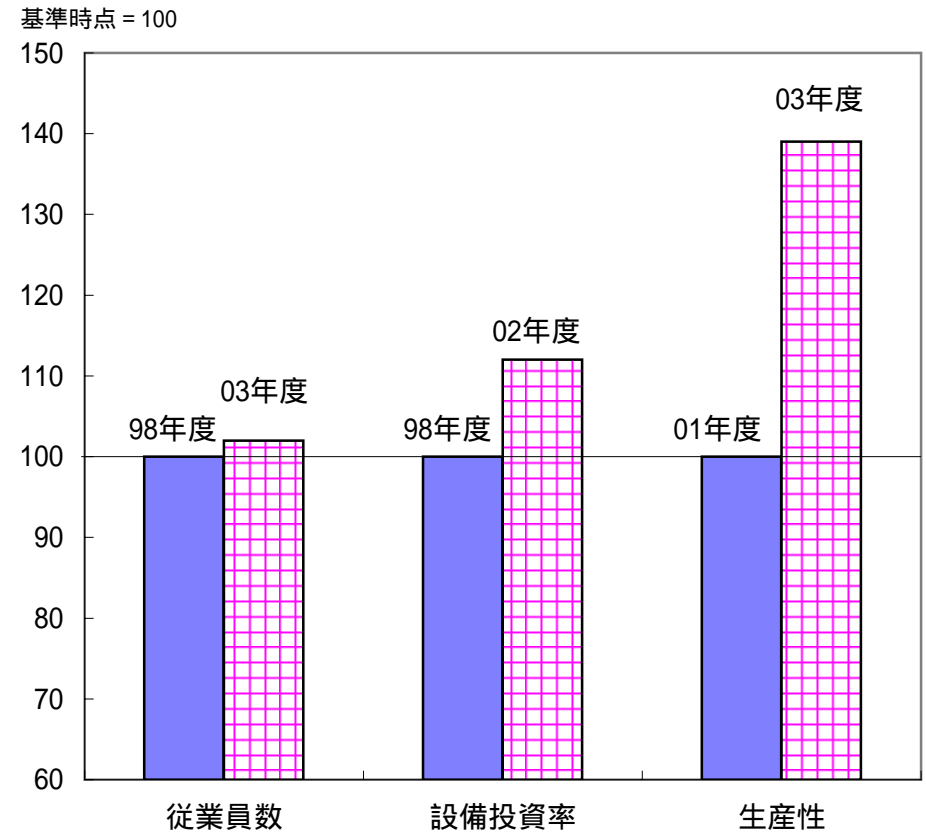
(出所) 米国労働省

# 不良債権処理の進展

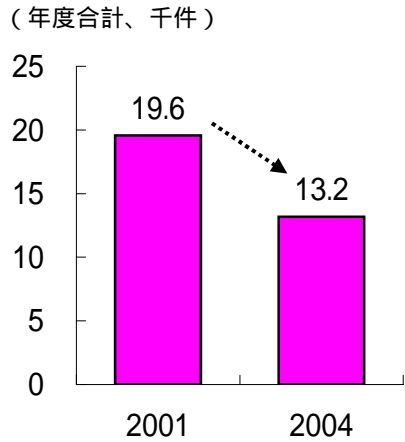
### 不良債権比率の低下



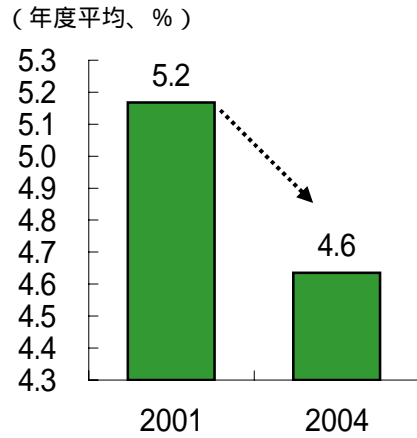
### 債務を削減した企業は好調



### 倒産件数



### 失業率



- (備考)
1. 基準年次(例えば従業員数の場合1998年度)の負債比率が平均より高い企業のうち、その直近年(同2003年度)の負債比率が低下した企業を対象。
  2. 設備投資率は、設備投資額を資本ストックで割ったもの。また、ここでの生産性は全要素生産性を指す。
  3. 帝国データバンクデータベース(従業員数、設備投資率)、日経NEEDS(全素生産性)より作成。

(備考)  
金融庁、各行決算資料、内閣府、東京商工リサーチ、総務省資料より作成(年度データ)。

## 2005年上期のヒット商品

### 飲食品関係

#### 生鮮100円コンビニ

コンビニと同規模の店舗で、野菜や生肉などの生鮮品を100円程度で販売する。

#### 第3のビール

低価格のビール風アルコール飲料。大手4社の商品が出揃い、ビール系飲料でのシェアは約2割に。

#### スープカレー

札幌名物の辛口料理で、全国に人気が拡大。サラサラとしたスープタイプのカレー。

### 家電関係

#### i-Podシャッフル

アップルコンピュータのi-Podを小型・軽量化したものの。最大で240曲収録可能。

#### シュレッダー

個人情報保護法の施行を背景に、個人向けの小型機種が売れ筋に。

#### 薄型テレビ

液晶・プラズマテレビが人気。最近進んでいる低価格化も普及の一因となっている。

### 健康関係

#### 超立体マスク

顔にフィットする不織布使用のマスク。花粉の大量飛散などで、売上は前年比で2倍超に。

#### 健康志向アイス

豆乳を使ったアイスなど、健康に配慮したアイスが相次ぎ登場。

#### LOHAS (Lifestyles of Health and Sustainability)

健康的で環境に配慮した商品・サービスを選ぶ生活スタイル。オーガニックレストランやフィットネス等でLOHASを取り入れる店舗も。

### その他

#### 愛知万博

「自然の叡智」を主題に3月25日開幕。累計入場者数は1000万人を突破。

#### 楽天イーグルス

プロ野球に50年ぶりに登場した新球団。東北各県への経済効果も期待される。

#### クールビズ

夏のビジネス軽装運動。百貨店等でボタンダウンシャツ等が売上に寄与。